



米

米の品種
「きぬむすめ」を
ご存知ですか？



農業経営支援課
石川 顕史

近年の温暖化に伴い、「キヌヒカリ」と「祭り晴れ」というどちらも倒れにくく味のよい品種から開発されたのが中生品種「**きぬむすめ**」です。

「きぬむすめ」の特徴は、炊飯するととても艶があり、粘りが強くて柔らかい。コシヒカリ並か、栽培地域によってはコシヒカリをも超えるおいしさと評価を受けています。また玄米品質や倒れにくさ、収量性等の特性も安定しており、欠点の少ない品種です。

平成25年に開催された「お米日本一コンテスト」では、**焼津市の生産者がこの品種で最高金賞と静岡県知事賞をW受賞**しています。

このような良食味と作りやすい優れた栽培適性をもっている「きぬむすめ」ですが、

平成28年産よりJAおおいがわ育苗センターで苗の生産を始めました。その結果、過去2年間で面積は飛躍的に伸びてきています。農産物検査実績としては、平成28年産が1等比率89%（その他品種平均65%）、平成29年産は91%（その他品種平均76%）と、とても優れています。

《栽培上の特徴・注意点》

- ・ 分けつしやすく、茎が太い。
- ・ 倒伏耐性「中」程度（あいちのかおり並）。
- ・ いもち耐病性は中程度、こま葉枯病には弱く、縞葉枯病には抵抗性無し。
- ・ 高温登熟性やや強く、玄米粒揃い良、品質良。
- ・ 食味は良好であるが、多肥栽培は行わない。

現在JAおおいがわでは、高付加価値米研

究会を立ち上げ、この「きぬむすめ」で農業所得向上に向かって進んでおります。



みなさんも是非

「きぬむすめ」を栽培して

みてはいかがですか？